

取扱説明書

取付けは、必ず専門業者に依頼してください。
取付ける前及びご使用前に必ずお読みになってください。
本書はお読みになった後も、本製品の側に置いてご活用ください。
ご使用中にわからないことや、不具合が生じた際に便利です。

E89751-K00015-00
2020年10月1日発行
Ver.3-1.07

はじめに

この度は、HKS SLDをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本製品を安全に使用していただき、かつ機能を充分に発揮させるために取付け前及びご使用する前に本書をお読みください。

商品名	SLD(SPEED LIMIT DEFENCER)TYPE I
用途	自動車用スピードリミッター解除装置
適合車種	国産12Vマイナスアース車両
コードNo.	4502-RA002
備考	

HKS SLD TYPE I は純正車両のスピードリミッターを解除する装置です。SLDを付けることにより、スピードリミッター制御が入らなくなり、サーキット走行時に非常に有効です。
一般公道では交通ルールを厳守し、安全運転してください。

- 本書は本製品を安全に使用していただき、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するために守っていただきたい注意事項を示しています。
 - お客様、又は第三者が本製品及び付属品を誤使用したことにより受けた損害については、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
 - 本製品の取付けには、車両の内外装、及び電装系の取外し、加工等の作業が伴います。当社はこれらの作業による物的損害の責任を負いかねます。慎重に作業してください。
 - 本製品はHKS製品取付け車両を基準に開発されております。上記車両以外に取付けた場合は、本製品の機能・性能及び安全性について保証いたしかねます。
 - 本製品及び保証書の製造番号が一致していることを確認してください。
 - 本製品は、DC12Vマイナスアースの国産車のみに使用可能です。
 - 本製品の仕様は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
 - 本書は予告なく改版することがありますので、あらかじめご了承ください。
 - 本書はお読みになった後も、本製品の側に置いてご活用ください。
 - 本製品は日本国内での使用を目的に設計されたものです。海外では使用しないでください。
- This product is designed for use in Japan only. It must not be used in any other country.

目次

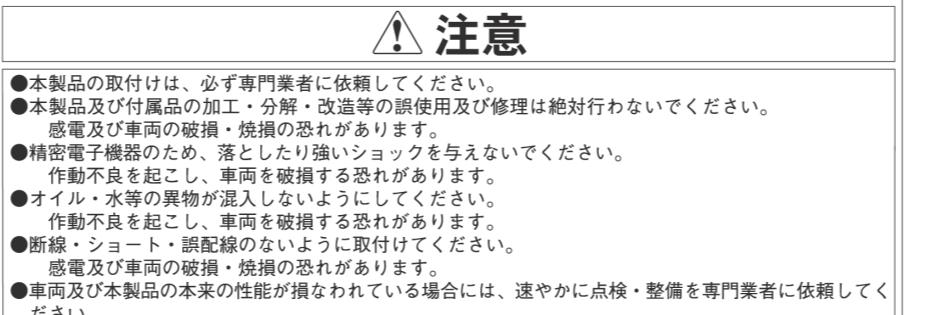
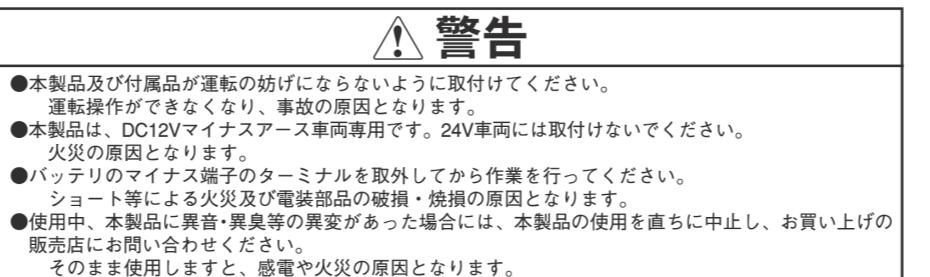
はじめに	1	故障と思う前に	4
目次	1	異常・故障時の対応	4
安全上の注意	1	保証について	5
パーツリスト	2	アフターサービスについて	5
取付方法	2	本製品の仕様	5
取付終了後の確認	4	用語の説明	5
取扱方法	4	改訂の記録	5
維持・管理	4	保証書	5

安全上の注意

本書では、下記のような記号を使用してお客様への危険レベルを示しています。本製品を正しくご使用、お取扱いいただくために次の注意事項を必ず厳守してください。

警告 作業者又は使用者が死亡、又は重傷を負う可能性がある場合

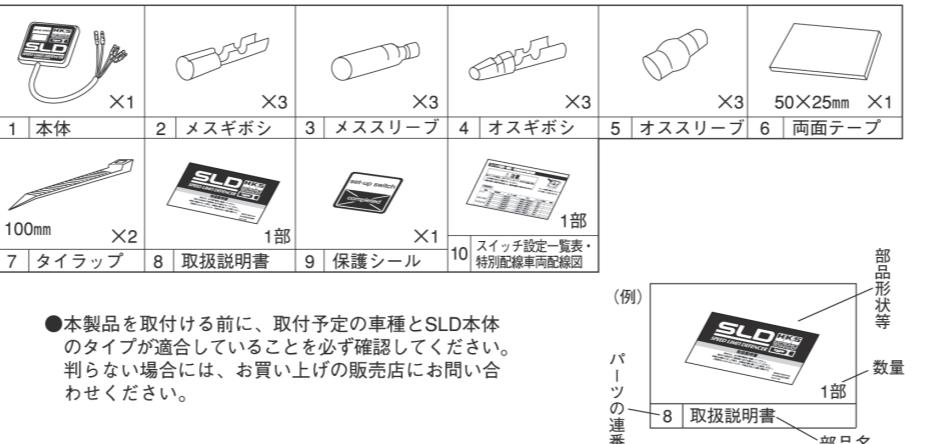
注意 作業者又は使用者が傷害を負う危険が想定される場合(人損)拡大物損の発生が想定される場合(拡大物損とは、当該製造物が原因で誘発された物的損害[例えば、車両破損及び焼損])



- 日常点検はドライバーの責任です。必ず実施してください。
- 本書は基本の形を説明したものですが、実際は車種によって取付方法が異なります。
- 純正部品の取付け、取外しの作業はメーカー発行の整備書をよく読んでから行ってください。
・整備書がお手元にない場合は、メーカーにてご購入ください。
- 取付け作業のために一時的に取外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。
- ボルト・ナット類は適正な工具で確実に締付けてください。
・必要以上に締付けを行うと、ボルトのネジ部が破損します。
- 接続時に、車両の配線を断線しないように取付けてください。

パーツリスト

本書は、下記の部品で構成されています。取付け前に異品・欠品のないことを確認してください。



- 本製品を取付ける前に、取付予定の車種とSLD本体のタイプが適合していることを必ず確認してください。
判らない場合には、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

取付方法

●本書は、基本の形を説明したものです。車両によって取付けが異なります。

1. バッテリマイナスターミナルの取外し

- バッテリのマイナス端子のターミナルを取り外してください。

2. 配線方法

2.1. スイッチの設定

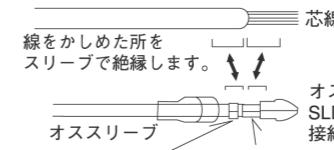
- 別紙の「スイッチ設定一覧表・特別配線車両配線図」より、取付ける車両のスイッチ設定を確認します。
- (1)の設定に適合する図を参照し、スイッチの設定を行ってください。
- スイッチの設定が合っている事を確認後、スイッチ穴が隠れるように付属の保護シールを貼ってください。



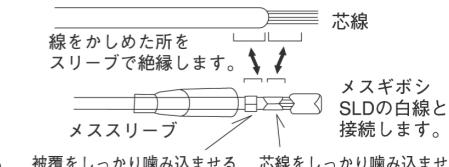
2.2. ギボシの取付方法

- 車速信号線を下図通りに加工してください。

切断したECU側の線



切断した車両側の線



アドバイス

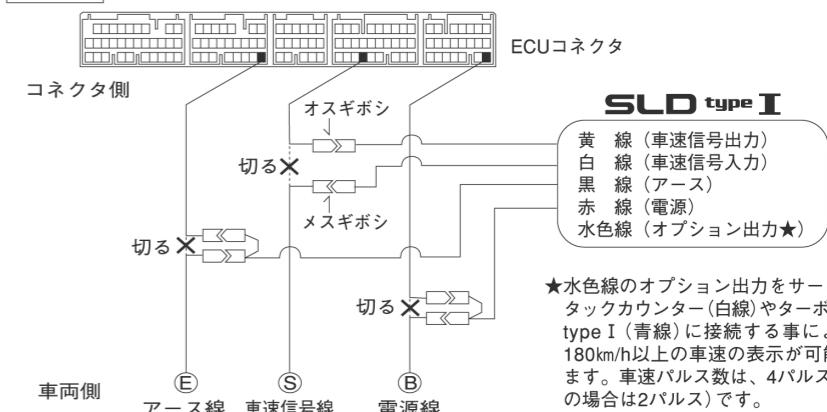
- ・ギボシをかしめる専用工具がない場合は、ラジオベンチなどで噛みませた後、はんだ付けをして、ギボシから線が抜けないことを確認してください。
- ・ギボシを取付ける場合は、被覆を剥いた電線の芯線部分を折り二重にすると抜け難くなります。

2.3. 配線

- HKSホームページ下記アドレスの「車種別配線位置図」から、取付ける車両のECU位置を確認してください。
https://www.hks-power.co.jp/aftersupport/manual_dl/electronics/haisen.pdf
ヴィッツNCP91とシビックFD2は「スイッチ設定一覧表・特別配線車両配線図」を参照してください。
- (1)の位置よりECUコネクタを取り出します。
「車種別配線位置図」または「スイッチ設定一覧表・特別配線車両配線図」(記載車両のみ)を参照し、取付ける車両のECUコネクタ(ヴィッツNCP91の場合はメーターコネクタ)と形状が同じであることを確認してください。
- 「車種別配線位置図」または「スイッチ設定一覧表・特別配線車両配線図」(記載車両のみ)を参照し、下記の順で配線を行ってください。



取付け例 トヨタ JZA80 スープラ 2JZ-GTE('97.8~)の場合



1 車速信号線(S)の配線

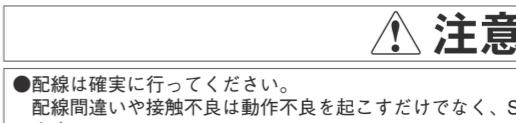
- 車種別配線位置図のECUコネクタ図より車速信号線(S)もしくは[SLD]の位置を確認します。
(SLDと記載されている場合は、(S)の代わりに[SLD]に配線します。)
- ECUコネクタから5cm程度の位置で切断します。
- コネクタ側にオスギボシを取り付けてSLDの黄線を接続します。
- 車両側にメスギボシを取り付けSLDの白線を接続します。

2 電源線(B)の配線

- 車種別配線位置図のECUコネクタ図より電源線(B)の位置を確認します。
- ECUコネクタから5cm程度の位置で切断します。
- コネクタ側にオスギボシを取り付けSLDの赤線のメスギボシを接続します。
- 車両側にメスギボシを取り付けSLDの赤線のオスギボシを接続します。

3 アース線(E)の配線

- 車種別配線位置図のECUコネクタ図よりアース線(E)の位置を確認します。
- ECUコネクタから5cm程度の位置で切断します。
- コネクタ側にメスギボシを取り付けSLDの黒線のオスギボシを接続します。
- 車両側にオスギボシを取り付けSLDの黒線のメスギボシを接続します。



3.固定方法

- (1) ECUケース内の隙間やECUフード裏等、他の部品と干渉しない、水のかからない所に固定します。
- (2) 取付け位置の汚れ(ほこりや油分等)を中性洗剤等で取除いてください。
- (3) 両面テープを使用して固定してください。
- (4) 配線をタイラップで固定してください。



注意

- 確実に水のかからない箇所に固定してください。

SLDや配線に水がかかると動作不良を起こし、SLDや車両を破損する恐れがあります。

4.取付後の作業

- (1) 配線が確実にされていることを確認してください。
- (2) 取外した純正部品を元通りに取付けてください。
- (3) バッテリのマイナス端子のターミナルを元通りに取付けてください。

取付終了後の確認

本製品の取付け後、下記の項目に従って、取付け作業に間違いのないことを確認してください。

1.エンジン始動前の確認

確認項目	確認
配線及び取付けた部品が、他の部品と干渉していないか。	
配線は確実に固定されているか。	
バッテリのマイナス端子のターミナルが元通りに取付けてあるか。	

2.エンジン始動後の確認

アドバイス

- ・始動直後は、エンジンの回転を上げないようにしてください。(アイドリング運転)

確認項目	確認
部品による干渉音がないか。	
配線は引っ張られてないか。	
エンジンを停止した後、各部が緩んでないか。	

以上で、取付け作業は終了です。

●作業者の方へのお願い

取付け作業が終了しましたら、本取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

取扱方法

一般公道では交通ルールを厳守し、安全運転してください。

維持・管理



注意

- ユーザマニュアルに記載されている事項以外は専門業者に依頼してください。

●快適に運転していただくために、必ず日常点検を行ってください。

●汚れやオイルのついた手でSLDに触れないでください。ケースが変色する恐れがあります。

●SLDを清掃する際には、乾いた柔らかい布等で軽く清掃してください。

故障と思う前に

本製品が正常に作動しない場合には、故障と判断する前に、下記の項目を確認してください。このとき、専門業者に本書を渡してください。

確認項目	確認
スイッチ設定は合っているか。	
配線位置は合っているか。	
白線、黄線が逆になっていないか。	
ギボシは確実に接続されているか。	

異常・故障時の対応



警告

- 使用中、本製品に異音・異臭等の異変があった場合には、本製品の使用を直ちに中止し、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

そのまま使用すると、感電や火災の原因となります。



注意

- 故障等の修理は、お客様ご自身では絶対に対処せず、必ず専門業者に依頼してください。

●走行中、車両に異音・異臭・振動等の異変があった場合には、ユーザマニュアルに従って対処してください。

保証について

本製品は「保証書」の内容に従って保証されています。「保証書」をよくお読みになり、お買い上げ日・店名・住所が記入・捺印されていることを確認のうえ、必要事項を記入し、大切に保管してください。記入もれがありますと、保証期間中でも有償となります。保証期間経過後の修理、及びお客様の不注意により、修理が必要になった場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

アフターサービスについて

本製品に関する問い合わせ、及び消耗部品・紛失部品等の購入は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

本製品の仕様

- 作動電圧.....DC10~16V
- 動作可能温度.....-20~70°C
- 最大消費電力.....0.5W

用語の説明

- 専門業者 : お買い上げの販売店及び取付けを依頼する整備工場・ショップ。
コードNo. : HKS製品及び部品を注文する際に使用する番号。
ユーザマニュアル : お車の購入時についてくる車両の取扱説明書。
メーカー : 車両の製造会社。
整備書 : メーカー発行の車両個々の整備要領書・修理書。
点検・整備 : 本製品と自動車全体を安全に運転するために機能・性能を確認し不具合部位を修理・調整すること。
日常点検 : 自動車を運行する人が行う点検。日常点検及び点検項目はユーザマニュアルに従って作業を行ってください。
ノーマル車両 : 車両購入時の状態である・アフターパーツを取付けていない・事故を起こしたことのない、以上の条件を満たす車両。
高温になる場所 : 温度上昇の高いところ。
例、直射日光の当たる場所・ヒーターの吹き出し口の近く等。
ECU : 車両のエンジンコントロールユニット。
誤使用 : 加工及び分解・改造・用途外使用を含む誤使用。
電装部品 : 車両の電気・電子部品。

改訂の記録

Ver.	日付	記載変更内容
3-1.01	2001/10	初版
3-1.02	2002/4	誤記修正
3-1.03	2004/6	追記・修正
3-1.04	2006/12	追記・修正
3-1.05	2007/12	追記・修正
3-1.06	2010/8	追記・修正
3-1.07	2020/10	追記・修正・削除